

(臨床研究に関するお知らせ)

带状疱疹関連痛で通院歴のある患者さんへ

当院では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、診療情報や検査データ等を解析する「観察研究」という臨床研究で、和歌山県立医科大学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。通常の診療で得られた情報等を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

带状疱疹関連痛に対する初期治療とその後の経過について-後ろ向き研究-

2. 研究代表者

和歌山県立医科大学麻酔科学講座・学内助教 中松和海

3. 研究の目的

急性期の带状疱疹関連痛を発症したにもかかわらず、侵害受容性疼痛としての処方がされず、痛みが緩和されていない患者さんが紹介されることがしばしばあります。このような患者さんに対し、侵害受容性痛に効果のある薬剤を当科で処方し、痛みが改善した割合を後ろ向きに調査します。今後、近隣地域の一次医療機関に対して急性期带状疱疹関連痛における適切な初期治療について周知する必要があり、臨床上有用な研究になると考えられます。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

带状疱疹関連痛の患者さんで、2020 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までの期間中に和歌山県立医科大学附属病院を紹介受診した方

(2) 研究期間

研究実施許可日～1 年後まで

(3) 試料・情報の利用又は提供を開始する予定日

当院の研究実施許可日から 8 週間経過後

(4) 利用させて頂く試料・情報

この研究で利用させて頂くデータは、2020 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までの期間の年齢、性別、紹介までの経過・期間、併存疾患、数値評価スケール、疼痛の性状、当院での治療内容、治療後の経過に関する情報です。

(5) 方法

带状疱疹関連痛として紹介された患者さんのうち、急性期に紹介され、かつ侵害受容性疼痛として治療が開始されていなかった患者さんの割合を調べます。そのうち、当科で適切な治療を開始し、良好な経過が得られた割合を調べます。

5. 外部への試料・情報の提供

ありません。

6. 研究の実施体制

和歌山県立医科大学附属病院

7. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

8. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、既にデータが解析され個人を特定できない場合など、研究の進捗状況によっては削除できないことがありますので、ご了承ください。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

9. 資金源及び利益相反等について

本研究に関連して開示すべき利益相反関係になる企業等はありません。

10. 問い合わせ先

【研究代表機関の問い合わせ先】

所属：和歌山県立医科大学麻酔科学講座

担当者：中松和海

住所：和歌山市紀三井寺 811-1

TEL：073-441-0611 FAX：073-448-1032

E-mail：knakamatsu@wakayama-med.ac.jp

【各機関の問い合わせ先】

所属：【研究代表機関の問い合わせ先】参照

担当者：同上

住所：同上

TEL：同上

E-mail：同上